『上野地区まちづくりビジョン』の策定について

1 策定の背景と目的

- 上野地区は、都の「都市計画区域マスタープラン」において、政治・経済・文化の中枢として 「センター・コア再生ゾーン」に区分され、文化、観光の拠点となる副都心を形成することと されている。
- また平成29年には「東京の都市づくりグランドデザイン」が策定され、拠点形成においては 地域の個性やポテンシャルを最大限発揮し、競い合いながら新たな価値を創造することが求め られている。
- 一方、都心部や周辺地域における再開発等が進む中、同地区では市街地の更新が進捗しないこ となどにより、拠点性の相対的な低下がみられる。
- そのため国際競争力を有する文化・観光の拠点の形成を推進するため、まちづくりの方向性を示す「上 野地区まちづくりビジョン」を策定した。



本ビジョンは、東京都が2017年に策定した 「東京の都市づくりグランドデザイン」と同様に、 現在より概ね20年後の状況を想定し、

2040年代頃

の将来イメージを目標とする。

2017~18年度 2019年度 ─ (H29~30年度) (H31年度)

2040年代頃

ビジョンの ビジョン 実現に向けた 取り組み i 策定

ビジョンに示す 将来イメージの 実現

3 検討体制

上野地区まちづくりビジョン策定委員会

- ■目的:①台東区が公表・策定するビジョンに関する意見交換、方向性の共有 ② 周辺のまちづくり、基盤整備等に関する情報の共有
- メンバー

基盤整備部会

(座

(委

長) 学識経験を有する者

員)学識経験を有する者、まちづくり協議会、町会連合会、商店街、観光団体、 交通事業者、台東区

(オブザーバー) 国土交通省都市局、東京都都市整備局、公共施設管理者、UR都市機構

(事務局)台東区地域整備第一課

■ 目的:① 都市基盤整備等の方針検討

(座 長)学識経験を有する者

(事務局)台東区地域整備第一課



② 基盤整備の推進に関する調整

(部会員) 学識経験を有する者、交通事業者、

公共施設管理者、台東区

まちづくり部会

- 目的:① まちづくりの方針検討
 - ② まちづくりの推進に関する調整
- メンバー

(座 長)学識経験を有する者

(部会員) 学識経験を有する者、まちづくり 協議会、町会連合会、商店街、 観光団体、台東区

(事務局)台東区地域整備第一課

2 これまでの経緯

● 地元や関係事業者等の意向把握・機運醸成、及びまちの課題・特性の把握のため、「副都心上野まちづ くり協議会の活動支援(H27年度~)」、「上野駅周辺まちづくり推進方策検討調査(H28年度)」、 「上野地区まちづくり基礎調査(H28年度)」を実施。

副都心上野まちづくり 協議会の活動支援 (H27年度~)



地元主体の将来像の検

● 相談員派遣等による、

討支援・機運醸成

● H28年度末に区に中

● H29年度末に区に最

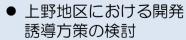
間提言書を提出

終提言書を提出

上野駅周辺まちづくり 推進方策検討調査 (H28年度)







「ト野地区まちづくり ビジョン策定委員会」 の立上げに向けた関係 者との協議・機運醸成



「上野地区まちづくり」 ビジョン」の策定を見 据えた、まちの歴史・ 基礎情報等の整理

4 スケジュール

■ メンバー

